

留学報告書

カナダ・ブリティッシュコロンビア大学

学部学科・研究科専攻	文学部英語文化コミュニケーション学科		留学時学年	2年
留 学 先	国	カナダ	大学/機関	ブリティッシュ・コロンビア大学
期 間	2025年1月5日 ~ 2025年3月25日			
	中期		計3ヶ月	

[1] 参加した語学コースの時間数/科目名（受講科目・複数可）

- ・授業時間数：12コマ/週(1月～2月末)、9コマ/週(2月末～)
- ・科 目 名：EAP400R&W、EAP400S&L、ASPIRE7Integrated Skills、ASPIRE6Project

時 間	月	火	水	木	金	土	日
10:15~12:00	○	○	○	○	Free	Free	Free
13:00~14:45	○	○	○	○	Free	Free	Free
15:00~16:45	○	○	○	○	Free	Free	Free

時 間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	○	○	○	Free	Free
13:30~15:45	○	○	○	○	Free	Free	Free

[2] 授業内容について教えてください。

（クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等）

クラスメートは日本人8人、中国人3人、韓国人2人、パラグアイ人1人、イラン人1人の計15人で、担当の先生3人のうち1人はイラク出身の先生でした。教材は購入した教科書を3冊と先生からの配布資料を使用しました。2月末からはプログラムが変わり19人のクラスメート全員が日本人でした。担当の先生2人はどちらもカナダ出身で、使用教材は先生からの配布資料のみでした。両プログラムを通じて午前中はリーディングやライティングなどを主に学習し、午後はディスカッションやスピーチ、プレゼンテーションなどを含めたスピーキングやリスニングを主に学習しました。

海外派遣留学生
留学報告書

カナダ・ブリティッシュコロンビア大学

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

授業の一環で UBC 生や大学内で働く人にインタビューをして、その内容をもとにプレゼンテーションを行うといった授業が何度かありました。またバンクーバー内の博物館に足を運び、現地のユニークな歴史を学んだりもしました。授業の間や昼食の時間はクラスメートだけでなく他クラスの人とも関わることが多くみんなで昼食をとったりゲームをしたりしました。UBC やその周辺はたくさんのお店や施設があるため放課後はよく友達と寄り道をしていました。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

UBC には 6 つの図書館があり、課題が多く出た日やテスト前には、友人とよくそこで一緒に勉強しました。また、大学内には「NEST」と呼ばれる施設があり、さまざまな飲食店やコンビニのような店舗が入っています。この施設の 3 階より上のフロアには勉強ができるスペースもあるため、そちらもよく活用していました。

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1 部屋 1 人で使用

様子：基本的にホストファミリー 3 人とペットの犬 2 匹と一緒に暮らしました。ホストファザーは日本人の血を引いているため少しだけ日本語を話すことができていました。2 月末からは新しい日本人のルームメイトが 2 人加わりました。食事は朝は自分でキッチンにあるものを使って準備し、昼と夜はホストペアレントが準備してくれました。しかしホストペアレント 2 人はどちらも仕事をしていて忙しくホストブラザーも学校があったため思ったよりも一緒に過ごす時間が少なく家では一人で過ごす時間が多かったです。留学前は、ホストファミリーと一緒にパーティーをしたり、どこかへ出かけたりすることを想像していました。ただ、受け入れ先によっては、日本の民泊のように食事や生活の場を提供するだけで、留学生とはあまり関わらないケースもあると聞いています。私のホストファミリーも関わる時間はそれほど多くはありませんでしたが、食事はとても美味しく、日本食を作ってくれることもありました。また、普段の生活で不便に感じることがないか、いつも気にかけてくれて、とても親切なご家庭でした。ハウスルールは食事の有無の連絡など基本的なこと以外にはなくシャワーや洗濯、門限などにルールはありませんでした。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと：

第一に学校で友達や先生とただ話したり授業を受けたりする時間がとても楽しかったです。ELI では国籍や年齢、性別が違って人と人との間に壁はなく誰でも気軽に話しかけることができました。そのため授業中では気軽に発言や質問ができ、ディスカッションの時間でも自分の意見をしっかりと相手に伝えることができました。休み時間ではクラスにとどまらず、他のクラスの人とも気軽に話すことができ、たくさんの友達を作ることができました。放課後や休日にはその友達と遊びに行ったり旅行に行ったりすることができ 1 日たりとも無駄な日はありませんでした。

海外派遣留学生
留学報告書

カナダ・ブリティッシュコロンビア大学

● 苦労したこと：

最初はホストファミリーや現地の店員、違う国籍の人との接し方がわからず苦労しました。特にホストファミリーには質問や要望があってもその時は英語力が乏しく、また不快にさせたらどうしようかと考えてしまいうまく伝えることができませんでした。またクラスのレベルが緊張していたためかとても高く自分に合っていないように感じました。そのため他のクラスメートにとにかくついていこうと積極的に英語を使うようになり最終的な英語力の向上につながったと思います。2月末にプログラムが変わってからはクラスメートが全員日本人になり、中には英語を学ぶために留学に来たのではなくただ経験や観光を目的としている人もいました。そのような状況の中で周りに流されず英語を学べる環境を自分で維持することに苦労しました。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

英語の4技能すべてを向上させることができたと思います。特にスピーキングは語彙や文法など基礎を身につけられたことに加えて、英語を使う機会が必然的に増えたことによってそれが自信につながり以前に比べて英語を使うときの抵抗や緊張が少なくなりました。おそらく4技能の内、スピーキングを最も伸ばすことができたと思います。

2) 専門知識の向上：

英語を学んでいく中でよくバンクーバーの歴史、特に原住民や移民について授業内で取り上げていたためそれらについての知識を向上させることができました。

3) 自己成長など

食事の準備以外は自分で何事もやらなければならないため自立する力を身につけることができました。特にお金に関しては日本よりもバンクーバーは圧倒的に物価が高いためより慎重に金銭の管理をするようになりました。またバンクーバーは多様性の街であり学校にも様々な人がいるため人によって他人との接し方やそれぞれがもつ意見に違いがありました。最初は戸惑ってしまうこともありましたが、今ではそのような経験を経てより他人を受け入れ理解することができるようになったと思います。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

留学に行く前は3か月という時間がとても長く感じましたがいざ始まると本当に一瞬で終わってしまいます。そのため次に留学に行く人にはとにかく現地での生活を一日も無駄にすることがないように生活してほしいです。最初は何事にも緊張してなかなか英語で話しかけたりするのが難しいかもしれませんが、最終的な目標を具体的に決めておくことでこういった場面でも勇気を出せると思います。

海外派遣留学生
留学報告書

カナダ・ブリティッシュコロンビア大学

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額（当時の日本円）
渡航費（旅行会社に支払った経費）	102万円 （うちホームステイ費用61万円）
授業料以外の諸経費（教材費・課外活動・保険料等）	3万円
私生活における諸経費（食費・交通費・洗濯費等）	30万円
現地からの奨学金がある場合	0円
お土産代や個人的な買い物	10万円
その他（ ）	0円
留学に関する費用の総額	145万円



海外派遣留学生
留学報告書
カナダ・ブリティッシュコロンビア大学

